

築地の新しい顔
和食文化の発信拠点となる施設の提案
New face of Tsukiji

Proposal of facility to serve as a base point of Japanese culture

○藤山翔己¹, 小林直明²

*Shoki Tohyama¹, Naoaki Kobayashi²

We lived close to the nature brought by the rich four seasons, sharing the "food" which is the blessing of nature, and sharing the food time, we have deepened our family and regional ties. "Japanese food" was born as a unique culture harmonized with the four seasons. The Japanese culture has been registered as intangible cultural heritage and attracting attention.

However, at present, "Japanese food" is being lost also in Japan due to changes in the living environment, changes in the natural environment, dilution of interest in annual events, etc. So Japanese meals based on the Japanese mind in the country We propose a complex type resort facility that can revive culture and send Japanese culture overseas.

1. はじめに

日本は、豊かな四季がもたらす自然に寄り添って生きて来た。自然の恵みである「食」を分け合い、食の時間を共有することで家族や、地域の絆を深めてきた。自然の美しさを表現し、四季と調和した独自性のある文化として「和食」が生まれた。和食文化は無形文化遺産に登録され注目を集めている。

しかし現在では生活環境の変化や自然環境の変化、年中行事への興味の希薄化等により「和食」というものが国内でも失われつつある。そこで国内に日本人の心に基づく習わしである和食文化を復活させ、海外にも和食文化を発信できる複合型リゾート施設を提案する。

2. 計画背景

対象敷地となる東京都中央区築地は日本・世界最大規模を誇る卸売市場である築地市場があることで広く知られている。1935年に日本橋の魚市場と京橋の青物市場が移転して開場した。1日の入場者数は約4万2千人。数ある卸売市場の中で最大規模になった要因として大きく関係してくるのが立地条件である。銀座の繁華街から1km圏内という立地で周辺には都営大江戸線築地市場駅、東京メトロ日比谷線築地駅、首都高速も近くを走っており、非常にアクセスがしやすい環境が整備され、多くの外国人観光客と国内からの客で賑わいが生まれている。

しかし施設の老朽化が進み現在の状態では運営していくのが困難と判断され、東京都江東区豊洲地区に移転することが決定した。

3. 計画敷地

計画敷地は前段で取り上げた豊洲地区に移転が決定した築地市場とし面積は約23ヘクタール。晴海地区に計画が予定されている2020年東京オリンピック選手村から会場を結ぶ環状2号線が通ることが計画されており、今まで以上に人通りが増加することが予想される。



Figure 1. Tsukiji Market

4. 基本計画

現在形成されている良好な交通環境を最大限に活かしつつ、更に羽田空港から船で直接アクセスできるように交通環境を整備し、和食文化を五感を通じて感じることができる海外からの観光客も国内からの観光客も利用しやすい新たな建築的機能を入れていく。

(1)新たな拠点の出発点となる旅館、ホテル機能

1 : 日大理工・学部・海建 Department of Oceanic Architecture & Engineering, CST., Nihon-U.

2 : 日大理工・教員・海建 Department of Oceanic Architecture & Engineering, CST., Nihon-U.

- (2)海からの発信拠点となる海の駅
 - (3)実際に四季を感じることができる体験型機能
 - (4)和食文化を自ら体験できる機能
 - (5)和食を楽しめる飲食店街
 - (6)一日中楽しめる娯楽機能
- 以上を入れ移転し利用されなくなった築地市場に新たな役割を取り入れる。

5. 建築計画

(1) 新たな拠点の出発点となる旅館、ホテル機能
昔ながらの和風建築を基盤とした低層型のホテルとする。日本の古き良き町並みを再現する。

(2) 海からの発信拠点となる海の駅
羽田空港から築地を船で直接結び、観光客の入り口となる港。また、築地を起点に船で観光することも可能になる。

(3) 実際に四季を感じることができる体験型機能
海外からの観光客は春夏秋冬全ての季節を実際に体験することは容易にできることではない。それを可能にする四季体験施設を提案する。空調管理等を徹底して行い、どの時期に観光に来ても全ての四季を感じることができる。実際に感じるにより四季の良さを再認識できる空間となる。

(4)和食文化を自ら体験できる機能
和食文化とは「食」そのものを指すだけではない。盛られている器などの陶器も和食文化に欠かせないものになる。陶器づくりを体験し「食」以外の和食文化にも触れることができる。

(5)和食を楽しめる飲食店街
様々な和食料理を堪能できる他、調理工程などの見学も可能である。

- (6)一日中楽しめる娯楽機能
水族館や映画館、カジノといった外国からの観光客が何時でも楽しめる娯楽施設。子供から大人まで様々な層の人でも楽しめる空間。



Figure 2. Placement plan

6. 参考文献

- [1]朝日デジタル 築地市場とは
< <http://www.asahi.com/special/tsukiji/profile/>>
- [2]築地市場 Wikipedia
<<https://ja.wikipedia.org/wiki/築地市場。>>

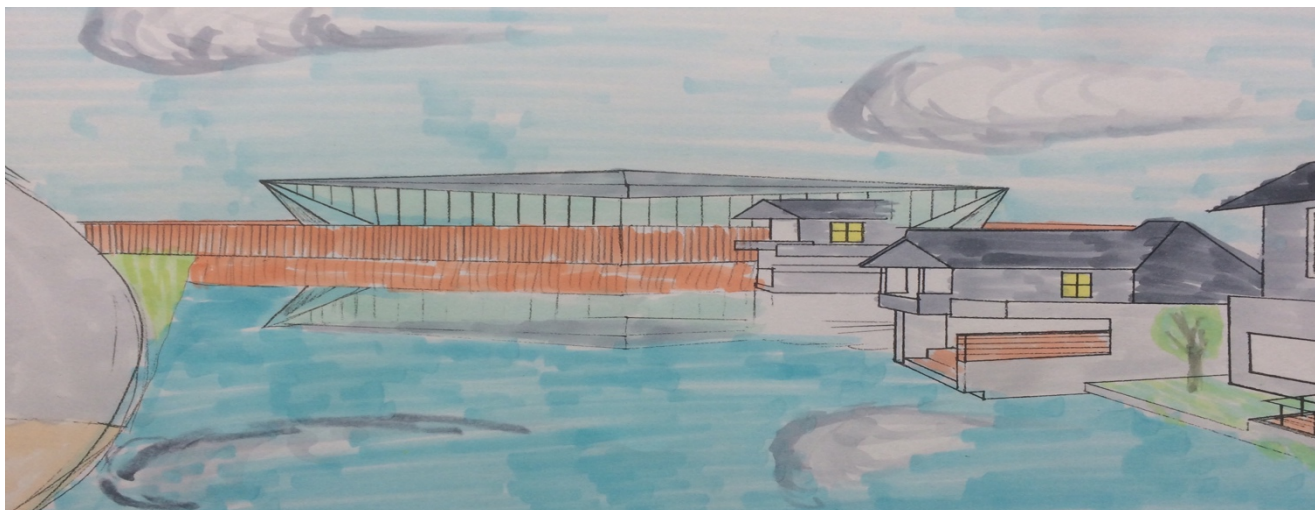


Figure 3. Perth